

(作成年月日) 2024年5月27日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 心理的安全性が薬剤師の疑義照会に与える影響

[研究の目的]

本研究では、当院薬剤師による疑義照会(※1)の実態を患者さんの電子カルテ記録から調査し得られたデータと、過去に当院薬剤師を対象に実施したアンケートの結果を組み合わせることで、心理的安全性(※2)と薬剤師の質疑応答・疑義照会との関連性を探索することを目的としています。

(※1) 薬剤師から医療従事者(主に医師)への問い合わせ

(※2) 組織やチーム全体の成果に向けた、率直な意見、素朴な質問、そして違和感の指摘が、いつでも、誰でも気兼ねなく言えること

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2019年4月1日から2023年3月31日の間に当院薬剤師が疑義照会を実施した患者さん

○利用する情報

疑義照会の実施件数、実施年月日、実施部署、疑義照会の契機、疑義照会の内容、疑義照会後の変更の有無、対象薬剤名、対象薬剤の薬効分類

※用語の定義

◇「疑義照会の契機」: 疑義照会に至った経緯について、当該事例に最も適合するものを以下より選択します。「用法用量」「配合変化」「入力不備」「相互作用」「処方提案」「効能効果」「禁忌・アレルギー」「医薬品情報」「検査値異常・未実施」「TDM」「重複」「簡易懸濁」「休薬・再開」「その他」

◇「疑義照会の内容」: 薬剤師が電子カルテ上に記録している疑義照会の具体的内容

◇「疑義照会後の変更の有無」: 疑義照会の結果、処方等が変更された場合を「有」、変更されなかった場合を「無」とします。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 医療安全管理部 薬剤主任 山口佳津騎

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 医療安全管理部

担当者 山口佳津騎

電話 087-891-2397 FAX 087-891-2484